

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 小金井おもちゃライブラリー学童クラブ

公表日 令和8年1月23日

利用児童数 令和7年12月1日現在 34名 回収23名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	4	0	0		1Fの活動スペースで法令基準を満たしたうえで、2Fにも子どもが利用できるスペースもあります。利用者がより快適に過ごせる環境を整え、遊び場所をパーテーションやマットを使い、エリア分けする等の工夫をし、活動しています。今後は簡易テントなども活用しながら、感覚過敏のあるお子さんに対してもリラックスできるスペースの工夫もしていきたいと思っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	1	0	2		法令で必要とされる人員基準に加え、今年度も保育士と作業療法士等の専門職を毎日配置。管理者を含め、6名～7名で支援しています。常勤職員も3名となり、より体制を充実させることができました。支援員は専門職のほか、保育士・小学校教諭・幼稚園教諭などの有資格者も多く、元支援学校教諭もスーパーバイザーとして入ってもらい助言を受ける中で支援にあたっています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	2	0	2		更衣室、遊ぶスペース、個室、おやつ、製作や宿題をする場所等、場面に適した環境設定を心掛けています。階段に手すりの設置、1Fトイレのバリアフリー化はされています。階段に関しては、安全設計の滑り止めを付けています。小金井市の合理的な配慮の提供に要する助成制度を活用し、トイレに手すりも設置しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	1	0	1		毎日、各部屋・トイレ・階段など、全てのスペースを支援前の時間に清掃を行っています。コロナ禍より、手すりやドアノブ、おもちゃ、食事(おやつ)の前後に机や椅子の消毒の徹底を継続して取り組んでいます。

適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	0	0	0	一人ひとりの障害特性に合わせ、支援にあたるように努めています。個別な配慮が必要なお子さんに対しては保護者の方の同意を得ながら、個別対応や個室の活用、小グループでの活動の場面を意図的に取り入れる等の配慮もしています。ライブラリーに通うお子さんの年齢的にも、自立を見据えての支援はとても大切にしています。集団だからこそできる経験も重ねていけるように、取り組んでいます。
	※6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	0	0	0	5領域に沿った支援に取り組んでいます。支援プログラムの詳細については、HPに公開しています。是非、ご覧ください。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	23	0	0	0	年2回の個人面談の実施。その際に、保護者のニーズはもちろん、利用者本人より聞き取りも実施しています。昨年度より専門的支援加算を算定しており、その実施計画や記録を専門職(作業療法士、言語聴覚士、保育士)が作成しています。専門職の視点からのアセスメントもより活用できるようになったので、個別支援計画にも反映させています。また、個別支援計画は、毎月、目標に対しての評価を出し、分析し保護者の方へフィードバックしています。昨年度12月から、都型放課後等デイサービスの認定を受けましたので、四半期に一回、評価結果を書面にまとめ保護者の方へ共有しています。ご活用いただければ幸いです。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1	0	1	昨年度後期(10月)支援計画より、最新の放課後等デイサービスガイドライン(令和6年7月版)に沿った目標を設定し、計画を作成しました。各々の年齢や特性、家庭や学校などの環境に合わせ、支援内容も具体的に設定しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	0	0	0	新しい計画を作成した際には、職員間で回覧し、周知した後、支援にあたっています。支援目標の設定に関しても、職員間で検討した内容を、面談時に保護者の方へ提案をしています。お困りの事などございましたら、お気軽にご相談ください。個別支援計画へ反映させて作成させていただきます。

適切な支援の提供	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1	0	2	放課後等デイサービスガイドラインの基本活動である【日常生活の充実と自立支援のための活動、多様な遊びや体験活動、地域交流の活動、こどもが主体的に参画できる活動】に沿った内容(製作・調理・散歩・音楽活動など)を週毎にローテーションにて取り組んでいます。長期休暇時には行事も取り入れて活動しています。今年度からコロナ前に取り組んでいたおやつ作りの調理活動を復活させる事ができました。長期休暇時には引き続き、お昼ご飯作りを実施、散歩やお出かけ企画の充実、買い物学習などにも積極的に取り組んでいます。今年度も企業の出張工場見学や就労継続支援B型事業所の移動駄菓子屋に来てもらい、外部との関わりも積極的取り入れ企画をしています。今後も職員間で意見を出し合い、工夫していきたいと思います。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	5	3	7	ライブラリーは学童保育所卒業後のお子さん(小学5年生～)を対象としている為、放課後児童クラブや児童館に来ているお子さんとの年齢差があり、一緒に活動する難しさがあります。現在は、近隣の学童さんと行事のお知らせは交換している状況です。また、今年度も介護等体験の大学生の受入や大学生ボランティアの受入をし、先輩の年齢に当たる学生さんとの関わりの時間を持つ事ができました。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0	利用開始時に、重要事項説明書を基に説明しています。利用料に関しては、毎年変更があります。随時書面にて配布してお知らせしますで、ご確認ください。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	0	0	0	年2回の定期面談時には、個別支援計画・個別支援計画の結果を書面にし、保護者の方と読み合わせをする中で内容を確認していただいております。支援内容や目標についてのご要望がありましたら、組み込んで作成いたしますので、ご意見いただければ幸いです。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	2	1	3	職員が研修に参加し、ペアレントトレーニングについて理解を深めました。今後も子どもの状況を保護者と確認しながら助言をしていきたいと思っています。当法人で研修会を開催することは現在できていませんが、他団体主催の研修チラシ等を配布し、ご家族へ情報提供等も実施しています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21	1	0	1	子どもへの理解、保護者への支援、助言は大変適切で心強い存在です。いつもサポートしていただいている実感があります。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	0	0	0		年2回個人面談の実施。相談が必要な場合は随時対応に努めています。いつでもご相談ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	0	0	1		子どもたちはもちろん、保護者の方と一緒に、子どもたちの成長を喜んでいきたいと思っています。
	※18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	4	1	7	きょうだい向けはもっと情報があると助かります。	今年度開催しました保護者会では、当事業所で過ごしている様子のスライド(100枚程度)を、保護者の方に見ていただきました。また、小金井市内の就労継続支援B型事業所についての情報交換を実施し、製菓商品の試食会もしました。先輩保護者から進路についての情報を得たり、地域の情報について等、とても有意義な情報交換の機会となっていました。各御家庭の事情により、多くの方々が集まる事が難しいのが現状ですが、今後も保護者間で顔合わせをする機会を設けていきたいと思います。また、今年も小金井特別支援学校PTA主催のお祭りへの出店ができました。保護者の方同士の連携も大切な事なので、今後も、充実できるよう努力していきたいと思っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	0	0	1		面談時だけでなく、随時相談を受け、必要に応じて個別な対応・支援に努めています。今後も、利用者本人の気持ちを大切に本人・ご家庭の支援をしていきます。いつでもご相談ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	0	0	0		保護者の方にはサービス提供記録やメール・電話・手紙・連絡帳にてお知らせをしています。子どもたちとは、スケジュールの掲示、意思カードも使用しながら相談の時間を持ち、本人の気持ちに寄り添い支援に取り組んでいます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20	2	0	1		学童クラブ通信(月1回)、いきいきだより(年1回)の発行。HPにブログも開設していますので是非ご覧ください。毎年ガイドラインに基づきアンケート調査を実施しています。また、開所以来、三年に一度、第三者評価を受審しています(今年度四回目を受審しました)。ガイドラインに基づいたアンケート結果、第三者評価受審結果は当法人WEBサイトからもご覧いただけます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	3		鍵付きの戸棚にて書類の管理を徹底しています。また、介護等体験やボランティア等外部の方が入る際には守秘義務に関する誓約書を交わした上で活動に入ってもらっています。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1	0	3		災害時のSOSシートの活用や様々なマニュアルを策定しています。詳細は配布しております“おもちゃライブラリーの【しおり】”をご確認ください。実際の訓練の様子はサービス提供記録や学童クラブ通信に記載をしてお知らせしています。又、非常災害対策計画等や業務継続計画、安全計画も策定し、年度の初めに保護者の皆様へ配布いたしました。そちらも併せてご確認ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	0	0	4		年5回避難訓練(火災・地震・水害・ミサイル・一時避難所までの避難経路確認など)各曜日1回ずつ実施しています。防災館へ体験にも行き、実際に子どもたちも体験や訓練の機会も積極的に取り入れています。様子を学童クラブ通信やサービス提供記録にてお知らせしていますので、ご確認ください。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	0	0	3		安全計画も作成し、年度の初めに保護者の方へ配布をしています。安全計画に基づき、避難訓練や設備点検、緊急対応や感染症対策等を実施し、安全管理をしながら、支援にあたっています。また、ヒヤリハットを活用する等、日々の支援に関しては、安全面へ最大限配慮する中で支援にあたっています。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1	0	2		サービス提供中にケガや事故、体調不良等があった際には、すぐに保護者の方へ連絡をし、対応にあたっています。その他、気になったお子さんの様子については、サービス提供やメールにてご連絡をし、情報共有しています。今後も事故なく過ごせるよう、安全配慮に細心の注意を払っていききたいと思います。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	22	1	0	0		子どもたちが安心して穏やかに過ごせるよう、これからも努めて参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	3	0	0	楽しみに利用させていただいています。	今後も学校・家庭とも違う“子ども達の生活の場”として、子どもたちが楽しみに登所できるよう努力していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	0	0	0	いつも保護者にも丁寧にフォローしていただきありがとうございます！	長期休暇時には、必要に応じ時間延長する等、地域で暮らし易いような支援に取り組んでいます。ライブラリーとしても最善を尽くしてきているつもりですが、行き届かない点があったり、保護者の方のご理解とご協力があったって現在も運営できていると感謝しております。引き続き、子ども達の健全な成長を支援し、今後も保護者のニーズと共に、寄り添っていけるよう努めていきたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		小金井おもちゃライブラリー学童クラブ			公表日	令和8年1月23日	集計11名
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点/課題や改善すべき点		
環境・体制整備	※1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	1Fの活動スペースで法令基準を満たしたうえで、2Fにも子どもが利用できるスペースもあります。利用者がより快適に過ごせる環境を整え、遊び場所をパーテーションやマットを使い、エリア分けする等の工夫をし、活動しています。今後は簡易テントなども活用しながら、感覚過敏のあるお子さんに対してよりラックスできるスペースの工夫もしていきたいと思っています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0	法令で必要とされる人員基準に加え、今年度も保育士と作業療法士等の専門職を毎日配置。管理者を含め、6名～7名で支援しています。常勤職員も3名となり、より体制を充実させることができました。支援員は専門職のほか、保育士・小学校教諭・幼稚園教諭などの有資格者も多く、元支援学校教諭もスーパーバイザーとして入ってもらい助言を受ける中で支援にあたっています。		
	※3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	更衣室、遊ぶスペース、個室、おやつ、製作や宿題をする場所等、場面に適した環境設定を心掛けています。階段に手すりの設置、1Fトイレのバリアフリー化はされています。階段に関しては、安全設計の滑り止めを付けています。小金井市の合理的な配慮の提供に要する助成制度を活用し、トイレに手すりも設置しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	毎日、各部屋・トイレ・階段など、全てのスペースを支援前の時間に清掃を行っています。コロナ禍より、手すりやドアノブ、おもちゃ、食事(おやつ)の前後に机や椅子の消毒の徹底を継続して取り組んでいます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0	その日の調子や活動内容、メンバー構成等、様々な要因を考慮し、パーテーションやマットの活用、個室やダンボールで作った部屋、テントなども使う中で、それぞれが安心・安定して過ごせるよう工夫しています。		

業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	0	曜日により担当支援員が異なるので、年三回全職員で集まり職員会議を実施。職員会議にてケースを検討し全職員で支援の確認を行い、積極的に参画できるよう努めています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	毎年ガイドラインに基づきアンケート調査を実施しています。また、開所以来、三年に一度、第三者評価を受審しています(今年度四回目を受審しました)。ガイドラインに基づいたアンケート結果、第三者評価受審結果は当法人WEBサイトからもご覧いただけます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	保護者同様に、ガイドラインアンケート調査と第三者評価のアンケート調査(三年に一回)を職員に対しても実施しています。その他、日々の支援前後の打ち合わせ、年三回の職員会議の他に、人事考査面談、虐待防止やハラスメント防止研修等、法人主催で研修を開催し、職場環境改善の機会を設けています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	0	開所以来、三年に一度、第三者評価を受審し、業務改善に努めています。今年度、四回目の第三者評価を受審しました。第三者評価受審結果は当法人WEBサイトからもご覧いただけます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	法人内研修にて11月に”虐待及び権利擁護、身体拘束適正化”に関する研修を実施しました。外部の研修に関しては、ダウン症協会、児童発達支援センター、(一社)チャイルドライフ主催の研修を受講しました。(研修内容:自閉症やダウン症の障害特性、DCD、性教育、ワーキングメモリー、アンガーマネジメント、対話ツール等)オンライン研修を活用しながら、支援の質の向上に努めています。また、各学校の学校公開や学校行事にも足を運び、学校での様子を把握し、支援に繋げています。

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	5領域に沿った支援に取り組んでいます。支援プログラムの詳細については、HPに公開しています。是非、ご覧ください。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	0	個別支援計画については、毎月、目標に対しての評価を出し、分析し、保護者の方へフィードバックしています。昨年度12月から、都型放課後等デイサービスの認定を受けましたので、四半期に一回、評価結果を書面にまとめ保護者の方へ共有しています。結果を受け次回の目標を設定し、より実態に則した計画の立案に努めています。また、昨年度より専門的支援加算を算定しており、その実施計画や記録を専門職(作業療法士、言語聴覚士、保育士)が作成しています。専門職の視点からのアセスメントもより活用できるようになったので、反映させていきたいと思っています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	職員間での打ち合わせや定期的な会議時に活動プログラムを検討し、常勤支援員だけでなく非常勤支援員へも、各々の支援員の経験や個性を活かし役割を振り活動に取り組んでいます。また、昨年度より専門的支援加算を算定しており、その実施計画や記録を専門職(作業療法士、言語聴覚士、保育士)が作成しています。専門職の視点からのアセスメントもより活用できるようになったので、反映させていきたいと思っています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	新しい計画を作成した際には、職員間で回覧し、周知しています。また、毎月評価期間を設定してるので、目標を確認し、支援にあたっています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0	医療機関等にて受けた検査結果を保護者の方の承諾を得て提出をお願いしており、支援に活かすようにしています。内部の取り組みに関してはまだ課題は残っていると感じられるので、今後も標準化されたアセスメントツールを活用、記録し、個人の適応状況を確認していけるよう改善していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	昨年度後期(10月)支援計画より、最新の放課後等デイサービスガイドライン(令和6年7月版)に沿った目標を設定し、計画を作成しました。各々の年齢や特性、家庭や学校などの環境に合わせ、支援内容も具体的に設定しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	職員間での打ち合わせや定期的な会議時に活動プログラムを検討し、常勤支援員だけでなく非常勤支援員へも、各々の支援員の経験や個性を活かした役割を振り活動に取り組んでいます。

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	放課後等デイサービスガイドラインの基本活動である【日常生活の充実と自立支援のための活動、多様な遊びや体験活動、地域交流の活動、こどもが主体的に参画できる活動】に沿った内容(製作・調理・散歩・音楽活動など)を週毎にローテーションにて取り組んでいます。長期休暇時には行事も取り入れて活動しています。今年度からコロナ前に取り組んでいたおやつ作りの調理活動を復活させる事ができました。長期休暇時には引き続き、お昼ご飯作りを実施、散歩やお出かけ企画の充実、買い物学習などにも積極的に取り組んでいます。今年度も企業の出張工場見学や就労継続支援B型事業所の移動駄菓子屋に来てもらい、外部との関わりも積極的取り入れ企画をしています。今後も職員間で意見を出し合い、工夫していきたいと思います。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	個別な配慮が必要な子がいる場合は、職員配置も含めて対応するように努めています。感覚への調整が必要な場合には、個室の活用や小グループでの活動の場面を意図的に取り入れる等の配慮もしています。年齢的にも自立への支援を大切にしている為、個々への配慮をする中で、集団だからこそできる経験も大切にし、活動しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	毎日、活動開始前には職員で集まり、ミーティングの実施を徹底しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	活動終了後送迎業務がある為、全職員が集まり振り返りの時間を持つ事は難しいですが、非常勤職員からの報告や確認事項がある際は、管理者が聞き取りをしています。毎日その日の振り返りをし、翌日以降のミーティングへ反映できるよう取り組んでいます。また、職員間で報告シートや業務日誌に記載し、口頭での状況報告だけでなく、翌日非常勤職員も内容を確認し、その日の支援に反映できる環境を整えています。

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	サービス提供記録を全職員が記入しているので、支援するにあたり責任と意欲・意識向上に繋がっています。 また、個別支援計画の評価結果は毎月、業務日誌も毎日記録し、会議や面談に活用しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	個別支援計画については、毎月、目標に対しての評価を出し、分析し保護者の方へフィードバックしています。昨年度12月から、都型放課後等デイサービスの認定を受けましたので、四半期に一回、評価結果を書面にまとめ保護者の方へ共有しています。また、年に2回面談時に計画の見直し、ニーズの確認をしています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	11	0	放課後等デイサービスガイドラインの基本活動である【日常生活の充実と自立支援のための活動、多様な遊びや体験活動、地域交流の活動、こどもが主体的に参画できる活動】に沿った内容(製作・調理・散歩・音楽活動など)を週毎にローテーションにて取り組んでいます。年齢的にも、自分でできることを増やし、社会性を獲得していくことが大切な時期です。今後も自己認知を深める中で、自信を持って就労・自立していけるよう支援していきたいと思います。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	0	毎日、課題活動の時間だけでなく、自由遊びの時間を必ず設定しています。自分の体調、気持ちに合わせて個室を使ったり、皆と一緒に過したり、自分で選択、支援員と相談する中で安心して過ごせる環境を設定しています。遊びの内容も、たくさんある玩具(カードゲーム、ボードゲーム、ごっこ遊び、トミカやプラレール、ブロック等)から自分で遊びたい物を選び、友達やスタッフを誘い合い、楽しんでいます。今後も自己表現のきっかけを大切に見守り、のびのびと過ごせるように支援していきたいと思います。

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	サービス担当者会議や支援者会議等には、児童発達管理責任者(兼施設長)が出席しています。その会議等前に、支援にあたっている支援員から状況を確認し、事業所としての方向性や意見をまとめ、お伝えするよう努めています。
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0	市役所職員の研修の受け入れや、子ども家庭支援センターや障害者センターとの連携、社会福祉協議会職員の見学の受け入れ等、積極的に取り組んでいます。利用者主治医に対しては保護者からのニーズに合わせ、通院同行や服薬等含む様子について書面を作成し情報提供をしています。今後も関係機関との連携を深め、支援にあたりたいと思います。市内の病院と協力医療機関として提携していただいています。社会福祉協議会や市内の学童保育所の職員の方に理事として運営に関わっていただいています。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	11	0	年度の初めに各学級の先生方へお手紙をお渡しし、利用曜日や緊急連絡先の共有をしています。各学校の年間予定の他に、毎月の予定表を確認し送迎にあたっています。送迎時には、様子や支援内容の共有に努め、それ以外にも各学校の行事にも出向き直接話す機会をつくり連絡調整の取りやすい環境を整えています。各々のニーズに合わせて学校へ訪問、支援者会議に出席、ご家庭と学校との関係調整の支援にも取り組んできました。ここ数年は、学校の先生がライブラリーに訪問して下さり、ライブラリーでの子どもたちの姿や環境設定、活動内容を実際に見ていただく機会も設定できています。引き続き連携を深めていきたいと思っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	4	年に1～2回、市内の各学童保育所への挨拶回りをし、連携を深めています。ここ数年で当事業所(放課後等デイサービス)の事を学童保育所の先生方にも知って頂けるようになり、学童保育所の先生よりニーズのある御家庭へ当事業所を紹介して頂ける事も増えてきました。今後も連携を深め、支援に繋がっていきたくと思っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11	0	保護者の方のニーズがあった場合には、就労先の事業所と連携を図る中で、先方へ出向いたり、来所して頂き、卒業前に情報提供や該当児との交流の場を設定しています。また、卒業後も就労先から支援に関して相談を受ける事もあり、卒業後も地域福祉サービス事業所間で連携を深めています。

関係機関や保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11	0	児童発達支援センター主催の研修はオンライン含め受講し、支援の質向上に努めています。児童発達支援センターや障害者センターとも、ここ数年深く連携を取れる関係性の構築もできるようになってきました。計画相談はじめ、利用者の移行時の引継ぎ、双方の事業所見学なども実施し、相談や連携を深めています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	6	ライブラリーは学童保育所卒業後のお子さん(小学5年生～)を対象としている為、放課後児童クラブや児童館に来ているお子さんとの年齢差があり、一緒に活動する難しさがあります。現在は、近隣の学童さんと行事のお知らせは交換している状況です。また、今年度も介護等体験の大学生の受入や大学生ボランティアの受入をし、先輩の年齢に当たる学生さんとの関わりの時間を持つ事ができました。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	11	0	社会福祉協議会・自立生活支援センター・子ども家庭支援センターとの連携や福祉NPO連絡会の連絡会に参加し連携を深めています。また自立支援協議会の役員の方、地域の民生委員さんとも連携がとれる環境が整ってきたので、今後の連携の仕方を考えています。ここ数年は、小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会主催の小金井子どもの居場所サイト「えにえに」にも当事業所が掲載されています。地域の皆様にも知って頂けるよう今後も連携を深めていきます。
	※34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	日常の様子や報告は常に連絡を取り合い、保護者の方と共有する中で、一人ひとりの子どもへの理解を深め、成長につなげています。今後も重要な支援と捉え、連絡を密に取っていききたいと思います。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	2	職員が研修に参加し、ペアレントトレーニングについて理解を深めました。今後も子どもの状況を保護者と確認しながら助言をしていきたいと思っています。当法人で研修会を開催することは現在できていませんが、他団体主催の研修チラシ等を配布し、ご家族へ情報提供等も実施しています。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	利用開始時に、重要事項説明書を基に説明しています。変更があった際は随時、重要事項説明書にて変更点を配布し、お知らせをしています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	保護者の方との面談前に利用者一人ひとりと、児童発達管理責任者が話をする時間を設定し、子どもたちの希望調査を実施し、個別支援計画に記載をしています。昨年度より保護者の方からの希望欄を追加し、面談時に伺った希望、要望について記載をするようにしました。今後も、本人、保護者の方と共に、個別支援計画を作成し、子どもの最善の利益を考慮していきたいと思います。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0	年2回の定期面談時には、個別支援計画・個別支援計画の結果を書面にし、保護者の方と読み合わせをする中で内容を確認していただいております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	面談時だけでなく、随時相談を受け、必要に応じて個別な対応・支援に努めています。今後も、利用者本人の気持ちを大切に本人・ご家庭の支援をしていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	0	今年度開催しました保護者会では、当事業所で過ごしている様子のスライド(100枚程度)を、保護者の方に見ていただきました。また、小金井市内の就労継続支援B型事業所についての情報交換を実施し、製菓商品の試食会もしました。先輩保護者から進路についての情報を得たり、地域の情報について等、とても有意義な情報交換の機会となっていました。各御家庭の事情により、多くの方々が集まる事が難しいのが現状ですが、今後も保護者間で顔合わせをする機会を設けていきたいと思います。また、今年も小金井特別支援学校PTA主催のお祭りへの出店ができました。保護者の方同士の連携も大切な事なので、今後も、充実できるよう努力していきたいと思います。

保護者への説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	重要事項説明書にて外部の相談窓口も記載、玄関扉にてポスター掲示し、苦情解決担当者及び責任者を配置し対応しています。リスクマネジメント委員会も設置し、より組織的に対応できるようにしています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0	学童クラブ通信(月1回)、いきいきだより(年1回)の発行。HPにブログも開設していますので、是非ご覧ください。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	鍵付きの戸棚にて書類の管理を徹底しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	保護者にはサービス提供記録やメール・電話・手紙・連絡帳にてお知らせをしています。子どもたちとは、スケジュールの掲示、意思カードも使用しながら相談の時間を持ち、本人の気持ちに寄り添い支援に取り組んでいます。
	※45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	0	コロナ禍以降開催できていませんが、以前は、法人として年2回の当施設にてお祭りの実施の他、市民祭りに参加していました。現在は、地域の方に無料でおもちゃの貸し出しも行っています。町内会にも参加し、施設の事を知っていただける機会も増えました。今後も地域の方々と連携を深めていきたいと思っています。

非常時等の対応

46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	災害時のSOSシートの活用や様々なマニュアルの策定を職員にはわかり易い所に掲示、閲覧できるよう設置しています。おもちゃライブラリーの【しおり】を配布し、より分かりやすく周知しています。又、非常災害対策計画等や業務継続計画、安全計画も策定し、年度の初めに職員だけでなく、保護者の皆様へも内容を周知しています。
※47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	BCPの策定をし、年度の初めに保護者の方へも周知しました。年5回避難訓練(火災・地震・水害・ミサイル・一時避難所までの避難経路確認など)各曜日1回ずつ実施しています。今年度は春頃に防災館へ体験に行く予定です。実際に子どもたちも職員も体験しながら、訓練していきたいと思います。
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0	契約時に提出していただく調査票にアレルギーや既往症、てんかん発作の有無を記載していただいています。SOSシートは毎年内容を保護者の方へアップデートしていただいております。服薬状況についても確認をとっています。服薬を開始した際には、様子を見るとともに、保護者だけでなく主治医にも書面にてお子さんの状況をお伝えし、情報共有に努めています。
※49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	契約時に必ずアレルギーの有無の確認を書面にて行っています。該当児がいる場合は全職員で確認、アレルギーに関して掲示をし間違いのないように対応しています。
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	安全計画も作成し、年度の初めに職員、保護者の方へ周知しました。安全計画に基づき、避難訓練や設備点検、緊急対応や感染症対策等を実施し、安全管理をしながら、支援にあたっています。

非常時等の対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0	安全計画も作成し、年度の初めに職員、保護者の方へ周知しました。避難訓練を実施した際には、サービス提供記録に記載をしたり、学童クラブ通信に記載をして、保護者の方へ共有しています。今後も家庭との連携の仕方について模索していきたいと思います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	事例があった際はヒヤリハット報告書を作成し、全職員が閲覧し、内容を把握して、対応をしています。年度末の職員会議にて一年間の事故やヒヤリハットの件数や内容を分析し、再発防止にも努めています。また、リスクマネジメント委員会も運営する中で、法人としても組織的に対応しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	今年度は1月10日に法人内研修にて“虐待及び権利擁護に関して”の研修を全職員対象に実施しました。今年度は東京都主催の虐待防止研修も受講し、法人内で伝達研修を実施することもできました。日々の支援に関してはその都度、職員間で話し合いの機会を持ち、適切な支援の仕方を確認しています。虐待防止委員会も設置しています。今後も外部研修も含め積極的に参加していきたいと思います。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	0	利用契約書にて、利用児童又は他の利用児童の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体抑制を行わない事を明記し、説明をしています。(必要に応じて、個別支援計画にも記載) また、その都度、保護者への連絡は密に取り、安全に過ごすことができるよう環境整備しています。また、法人内の虐待防止委員会にて権利擁護と虐待等防止対応規程や身体的拘束等適正化のための指針も整備し、対応に関しても職員間で理解を深めています。

※1,3,34,45,47,49 未回答/未記入あり